

歴史講座 湖西地域の渡来系の古墳について

大津市文化財保護課
西中 久典

はじめに

- ▶ 今日のキーワード
「渡来系」とは
- ▶ 本日も話す時代
古墳時代 おおむね後期 6世紀代が中心
(曼陀羅山古墳群が築かれた時代)

- ▶ はじめに
- ▶ 1 「渡来系」とは
- ▶ 2 大津市野添古墳群の調査概要
- ▶ 3 出土した鉄釘について
- ▶ 4 副葬品の出土状況について
- ▶ 5 古墳の立地について
- ▶ 6 カンザシについて
- ▶ おわりに

1 「渡来系」とは

- ▶ 渡来人とは？
- ▶ 「海外から日本列島に渡ってきた人」
- ▶ 渡来した人々の生活した場所
 - ▶ → 集落
 - ▶ 大壁建物・オンドル・韓式系土器・陶質土器
- ▶ 渡来した人々が葬られたお墓
 - ▶ → 渡来人のお墓(古墳・群集墳)
 - ▶ 「所謂」ドーム型石室・ミニチュア炊飯具・カンザシ・釧

1 「渡来系」とは

大津市域でみられる渡来人～坂本～錦織～

- ▶ 古墳時代後期に多くの渡来人が居た。
- ▶ 坂本から錦織にかけての地域に痕跡が分布
 - ▶ 1 お墓：横穴式石室の形態（所謂ドーム型石室）
 - ▶ 本地域内に全部で1,000基を越す古墳があるとも言われる。
 - ▶ 2 集落：大壁建物・礎石建物・オンドル
 - ▶ 3 遺物：古墳から出土するミニチュア炊飯具、カンザシなど。
- ▶ （大津ではあまりみられないもの 土器類）

5



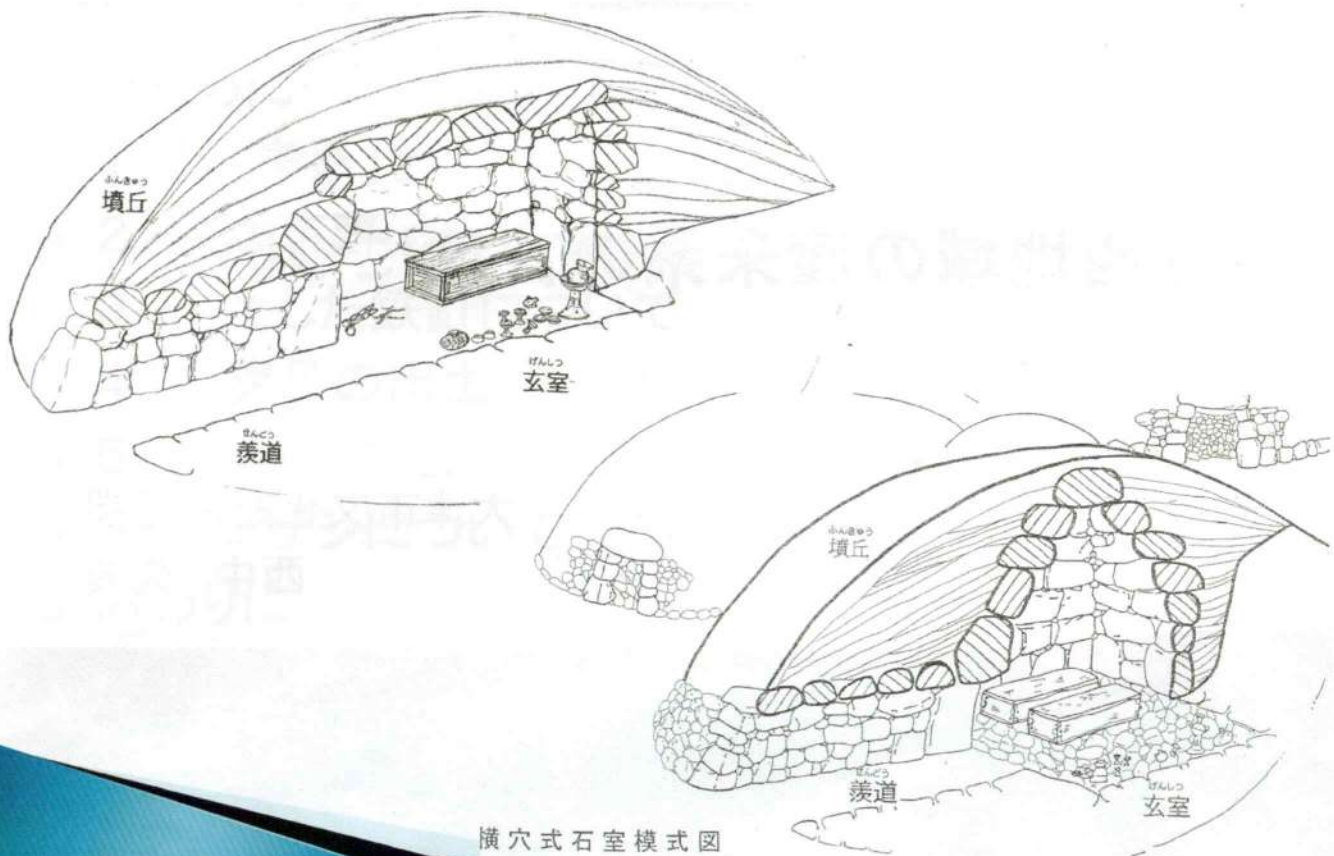
太鼓塚古墳群



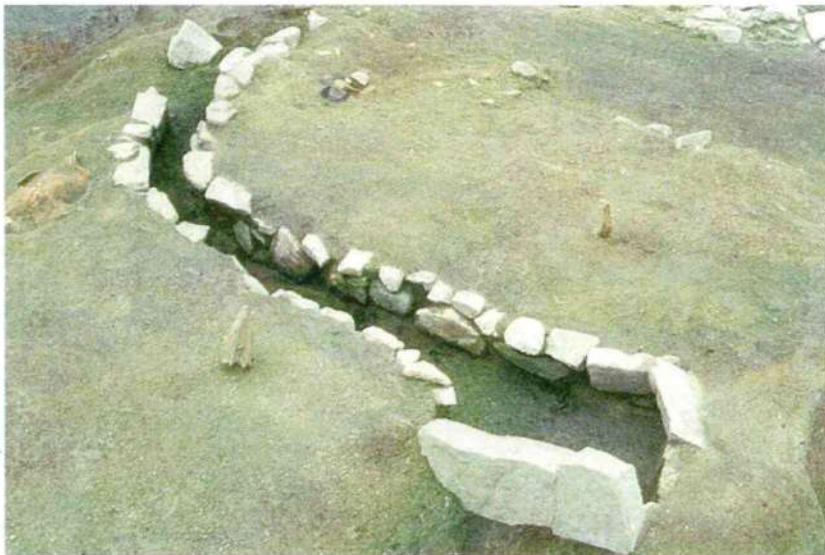
石室

7

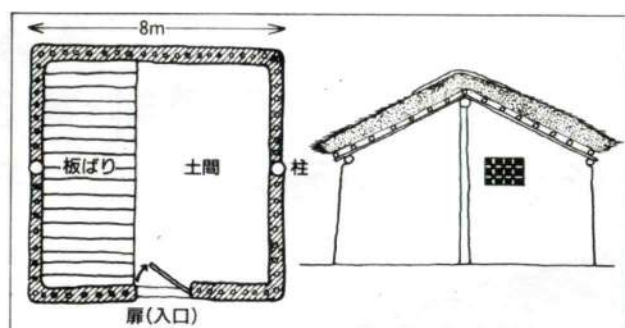
古墳・横穴式石室について



6



33 穴太遺跡温突（オンドル）遺構 大津市教育委員会提供



8



40 ミニチュア炊飯具形土器
大津市教育委員会保管



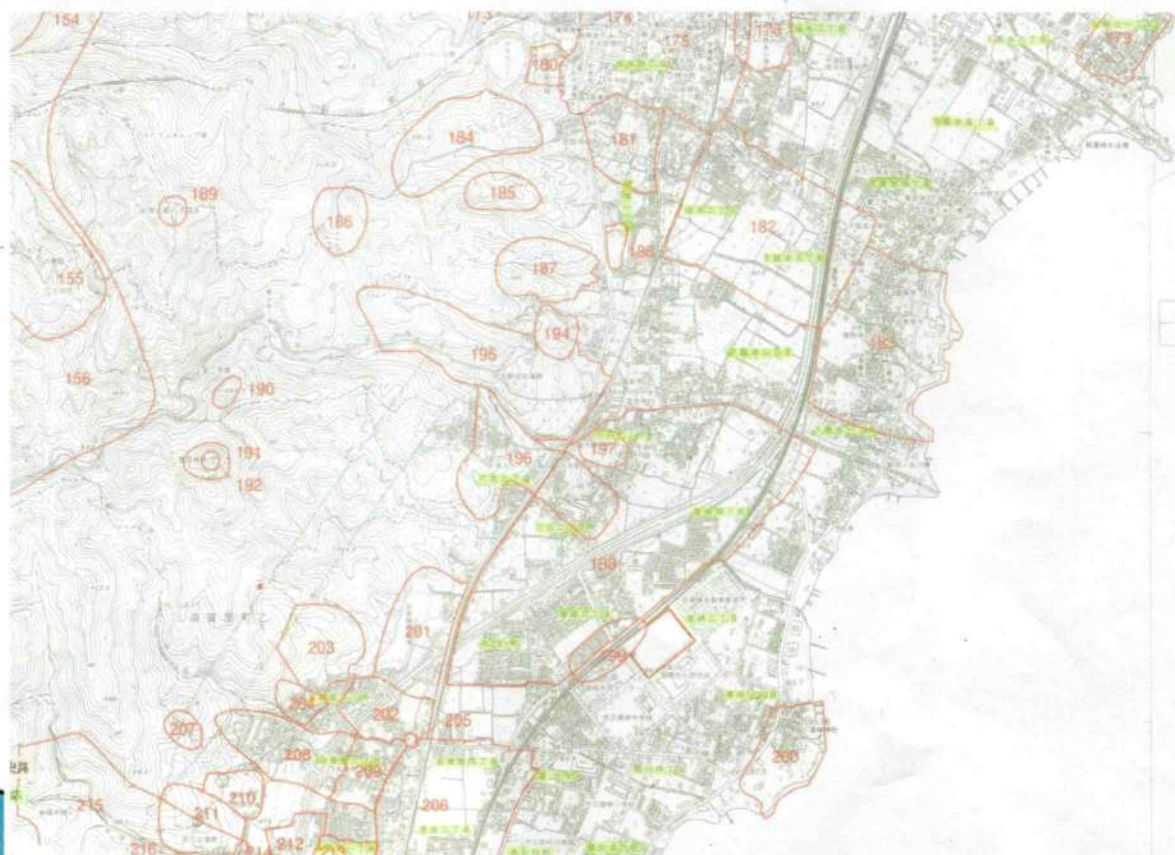
41 ミニチュア炊飯具形土器 大津市教育委員会保管



42 小型土師器類 大津市教育委員会保管

カマド・カマ・コシキ・ナベの4点で構成されるもので、通常1組しか副葬しない。No.40はカマド・カマ・コシキを重ね合わせた状態。No.41は、4点がすべて出土したもの。No.42の小型土師器類も本古墳群に特徴的にみられる副葬品のひとつ。

調査地点



2 大津市野添古墳群の調査概要

- ▶ 調査地点 大津市坂本一丁目
- ▶ 調査原因 グランド造成工事
- ▶ 調査期間 平成27年7月から11月
- ▶ 調査面積 約1,000m²
- ▶ 主な時代 古墳時代後期
- ▶ 主な調査成果
 - 横穴式石室 7基
 - 竪穴遺構 2基

10

これまでの調査

- ▶ 昭和44年度
 - 調査主体 滋賀県教育委員会
 - 調査成果 7基の横穴式石室を調査
- ▶ 昭和61～62年度
 - 調査主体 大津市教育委員会
 - 調査成果 28基の古墳を確認。
うち17基の調査を実施。一部現地保存。

12

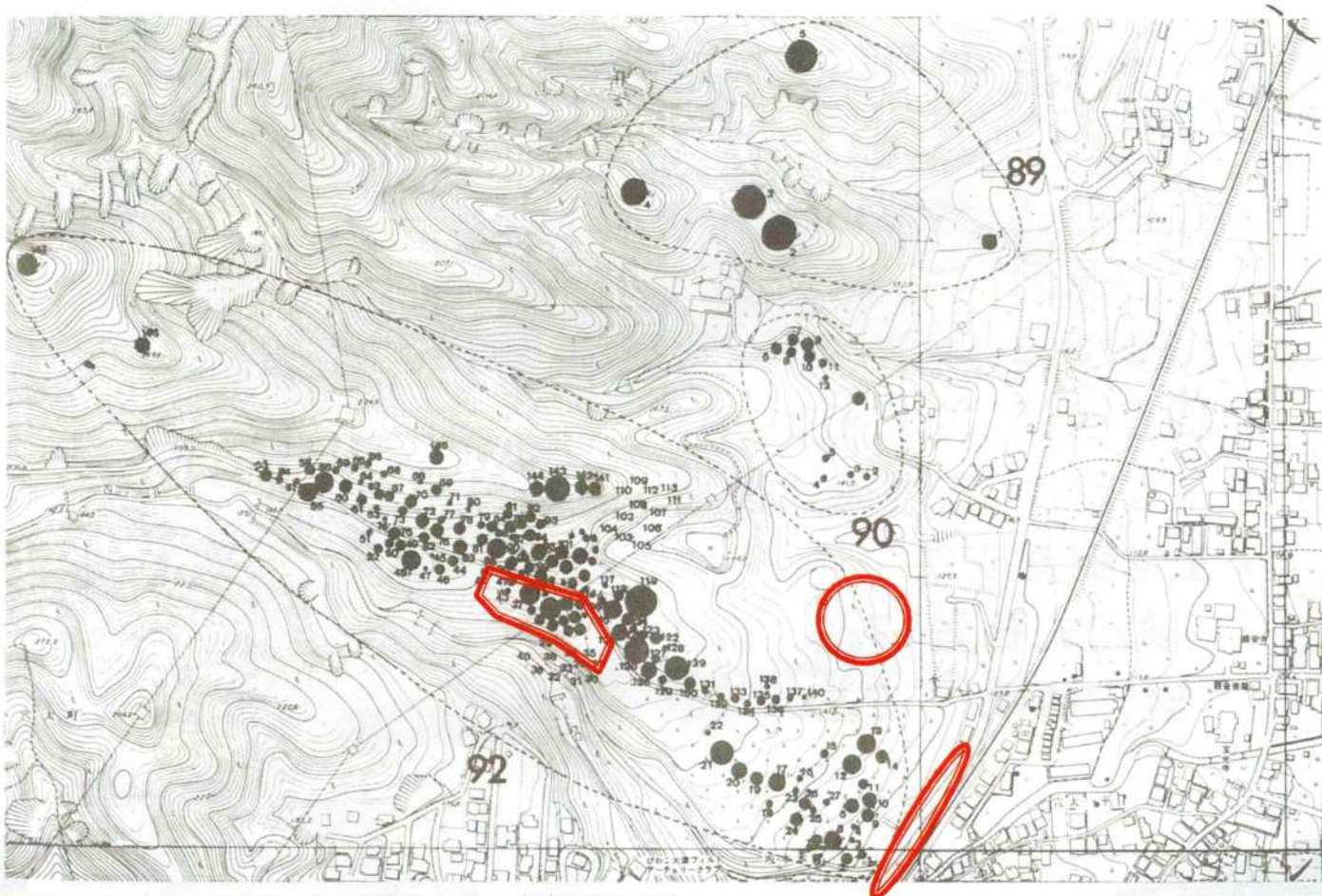


図25 穴太野添古墳群92、中山古墳群90、矢倉古墳群89分布図

13



調査区全景(南東から)

15

- ▶ 横穴式石室7基を調査。
- ▶ 墳丘は全て削平を
受けており不明。
- ▶ 竖穴遺構を2基検出。



14



1号墳石室全景

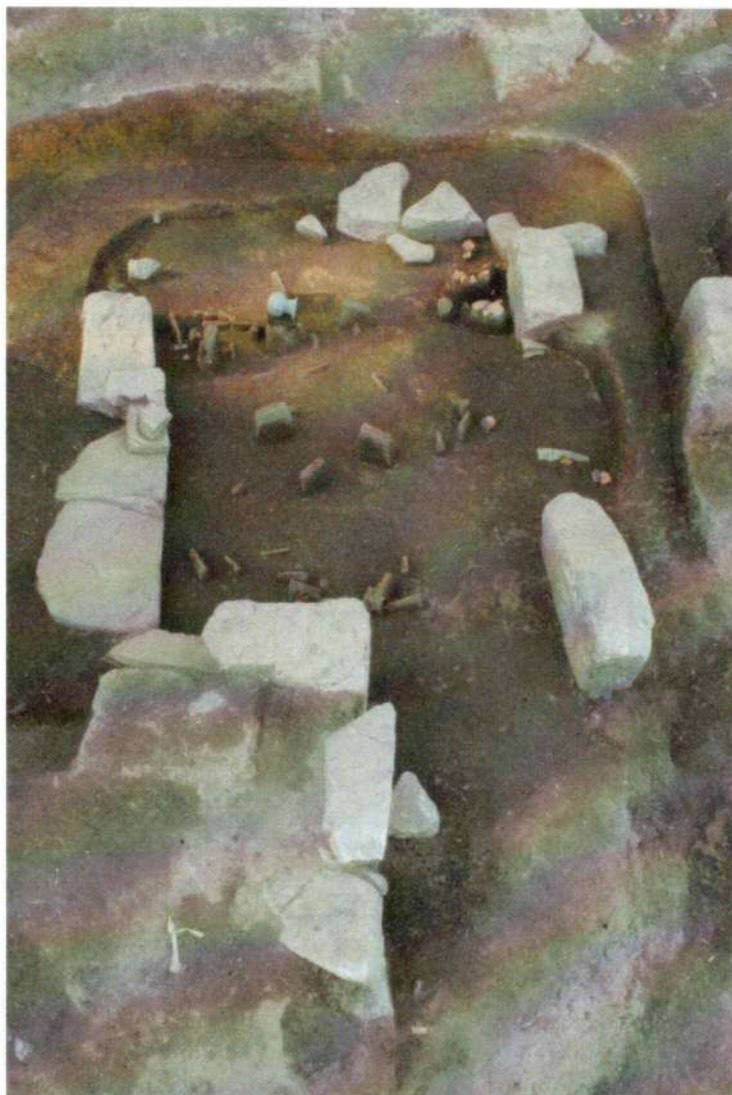
16



2号墳石室全景



4号墳石室全景



3号墳石室全景



5号墳石室全景



▶ 6号墳石室全景

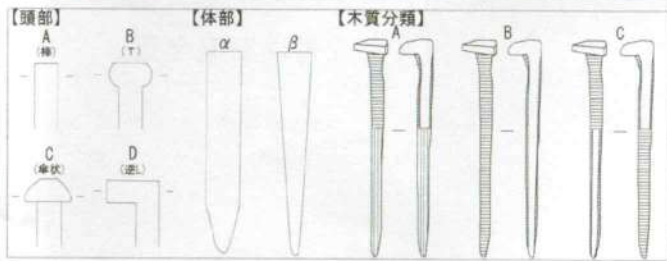
21



5号墳
鉄釘出土状況

23

3 出土した鉄釘について



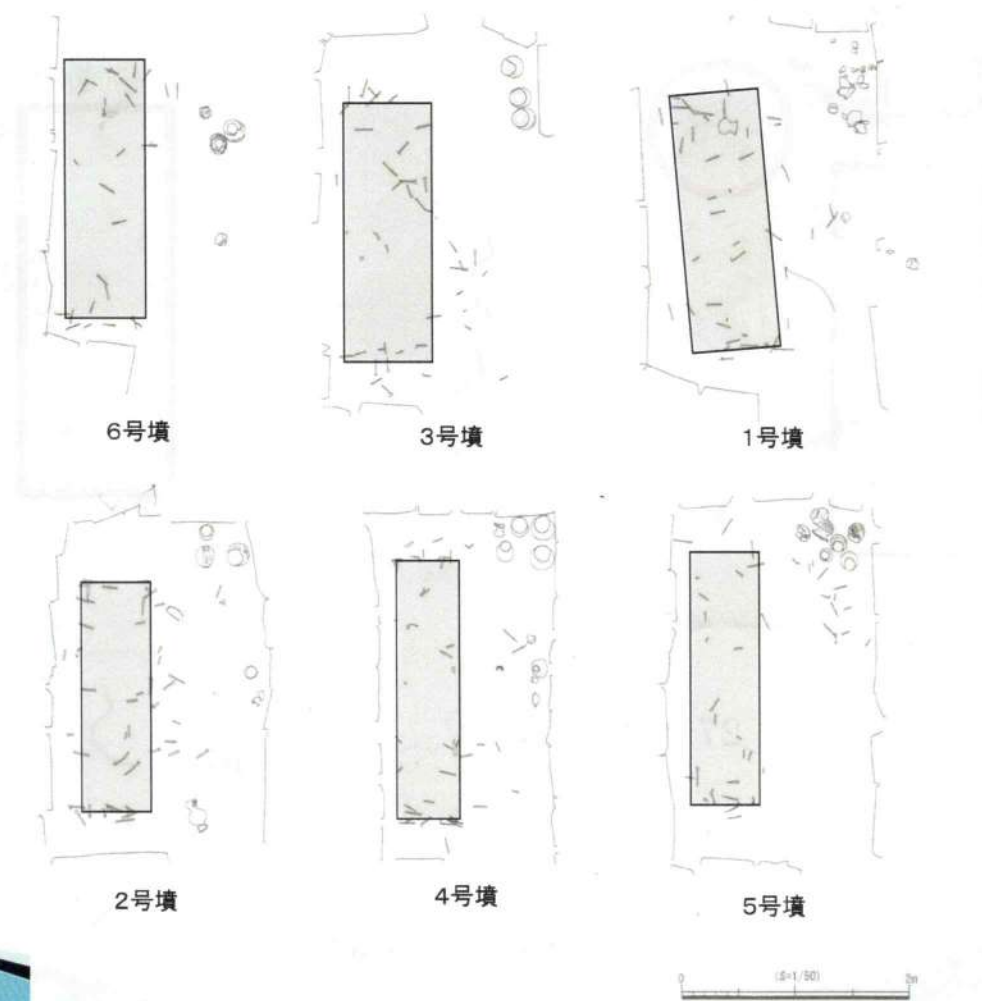
▶ 1号墳出土鉄釘

22

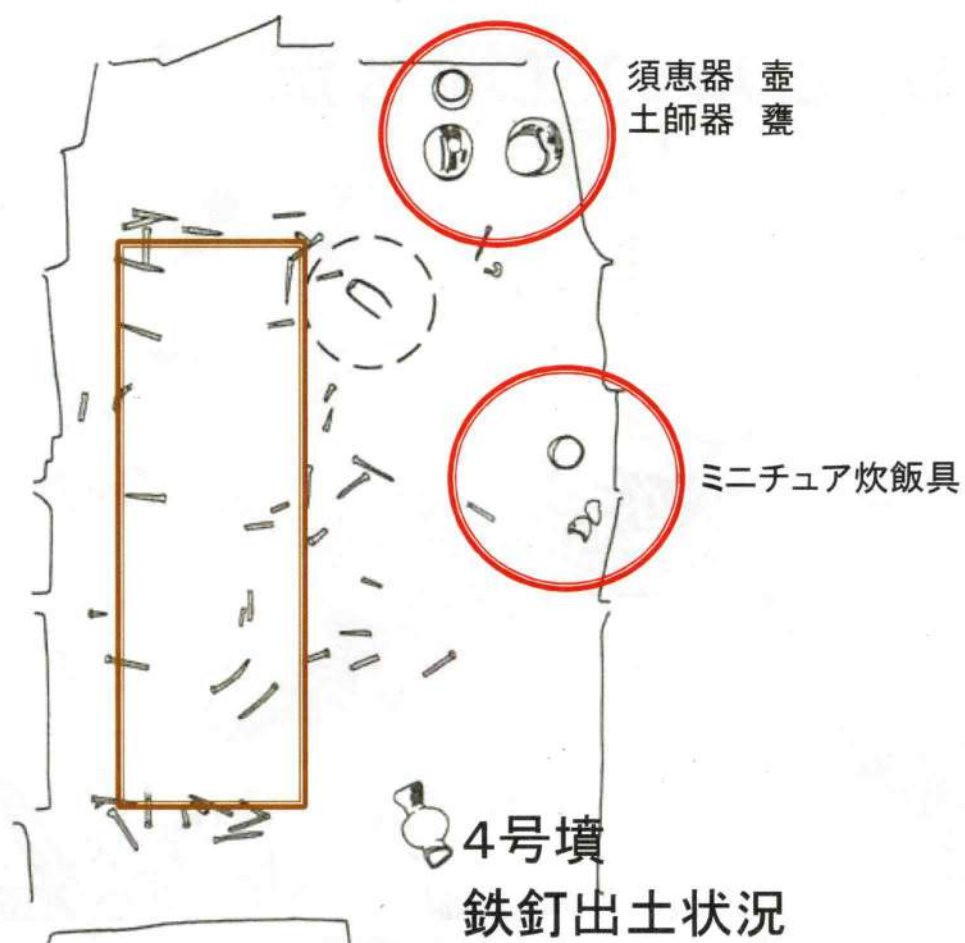


5号墳
鉄釘出土状況

24



25

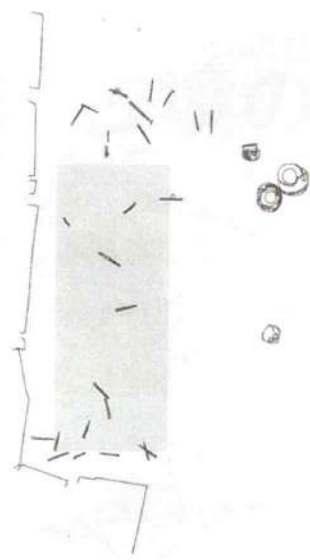


27

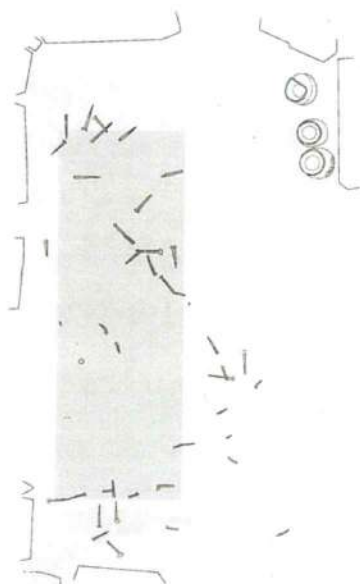
4 副葬品の出土状況について

- ▶ 左奥に土器類(杯類を含まない)を置く。
- ▶ 中央左にミニチュア炊飯具をおく
- ▶ 右側に木棺をおく

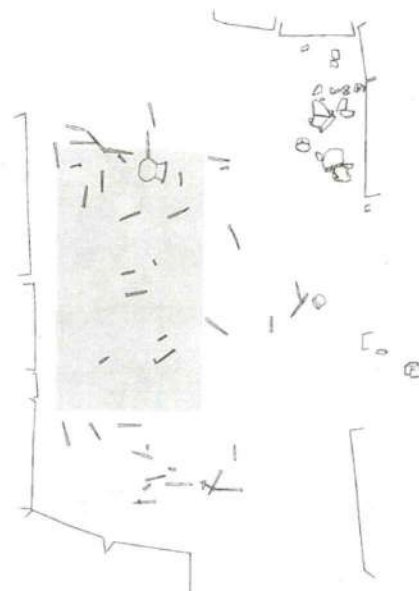
26



(1号墳)



(2号墳)



(3号墳)

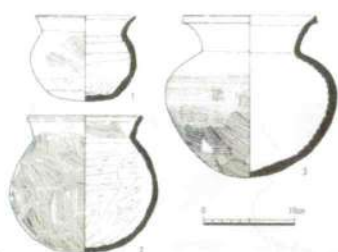


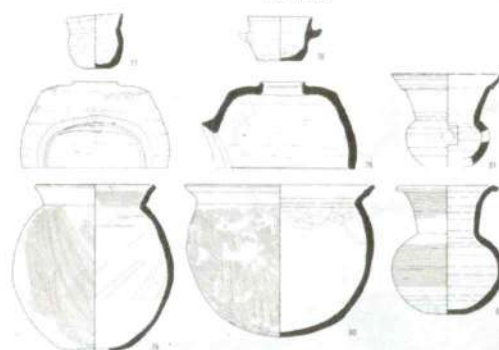
図29 1号墳出土遺物実測図(土器)

1号墳



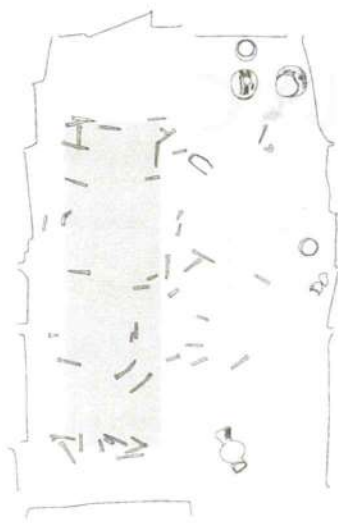
図30 2号墳出土遺物実測図(土器)

2号墳

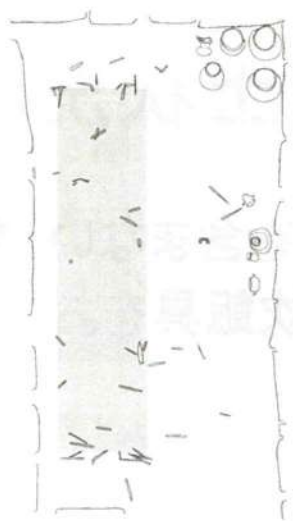


3号墳

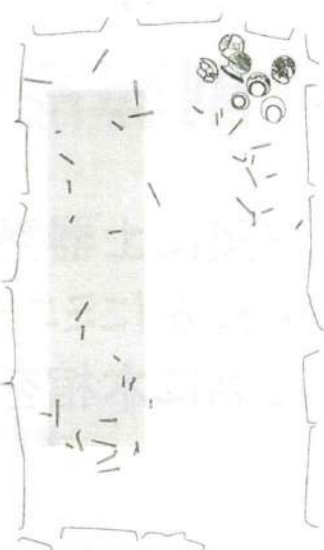
28



(4号墳)



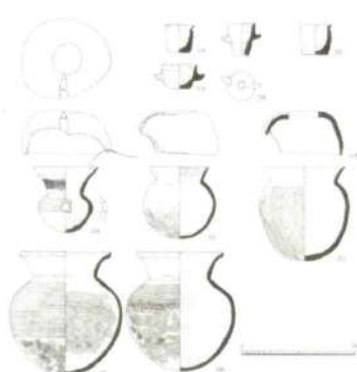
(5号墳)



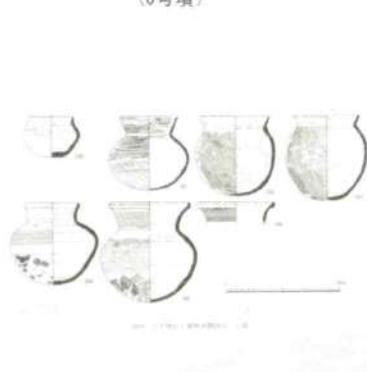
(6号墳)



4号墳



5号墳



6号墳



図18 1号墳玄室内遺物出土状況図

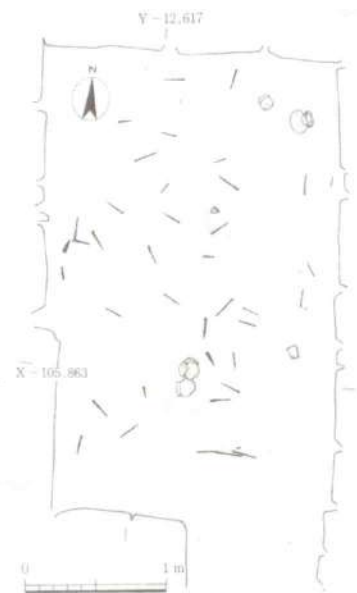
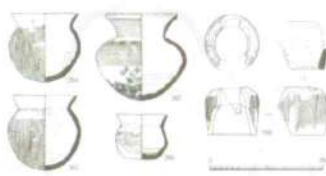


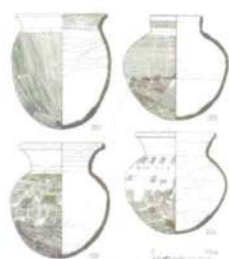
図20 3号墳玄室内遺物出土状況図



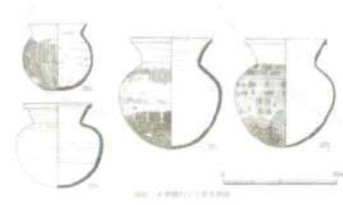
図21 4号墳玄室内遺物出土状況図



1号墳



3号墳
大谷遺跡



4号墳

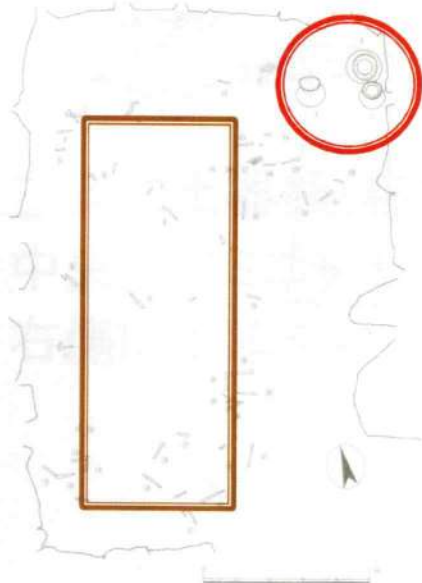
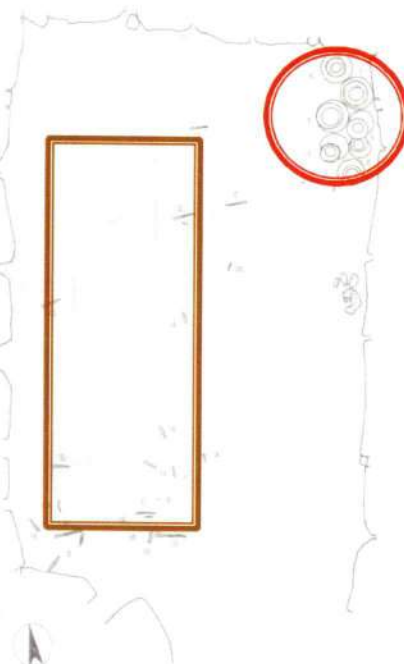


図85 27号墳遺物出土状況

27号墳



図86 27号墳出土遺物



29号墳



図87 29号墳出土遺物

30

太鼓塚古墳群

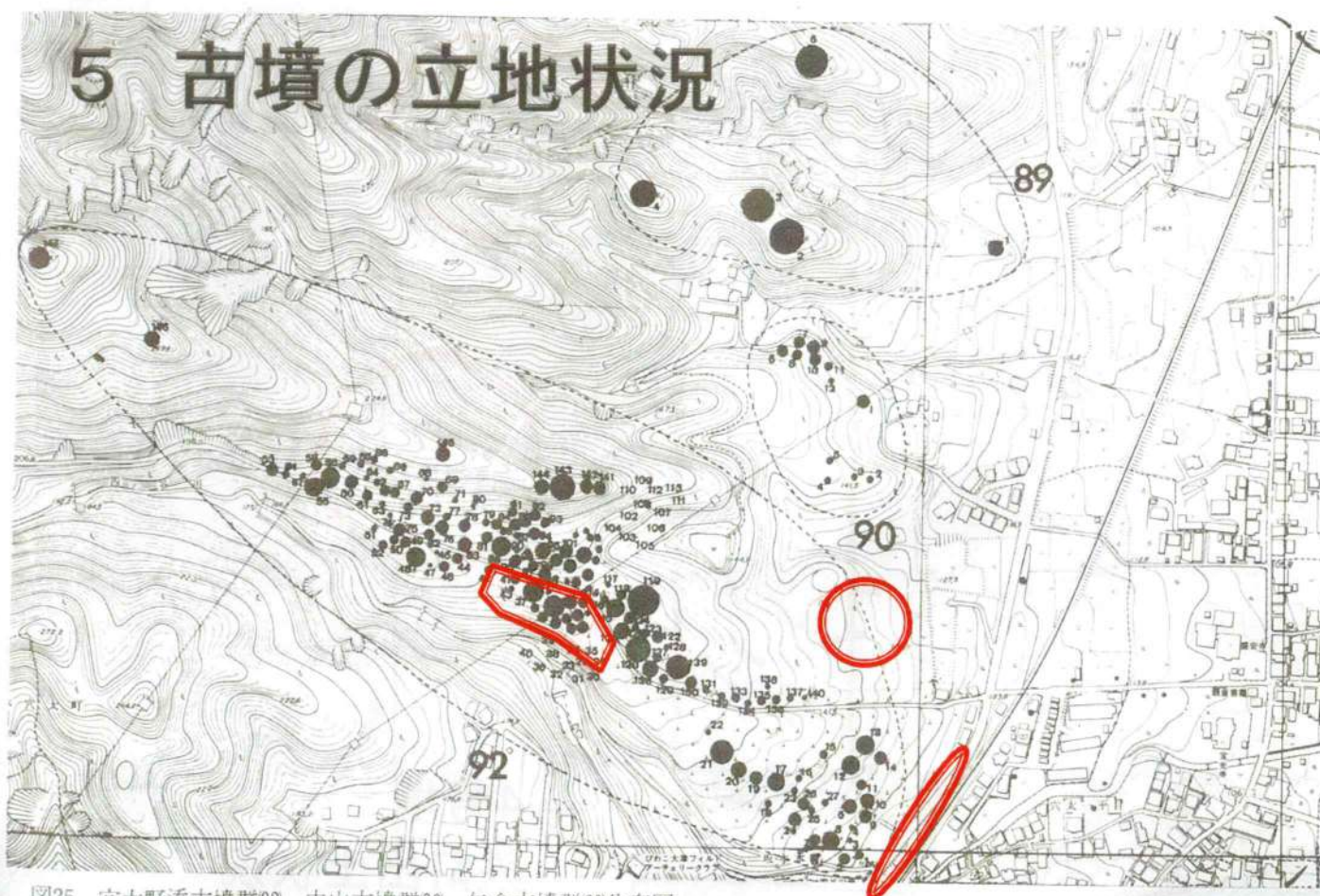
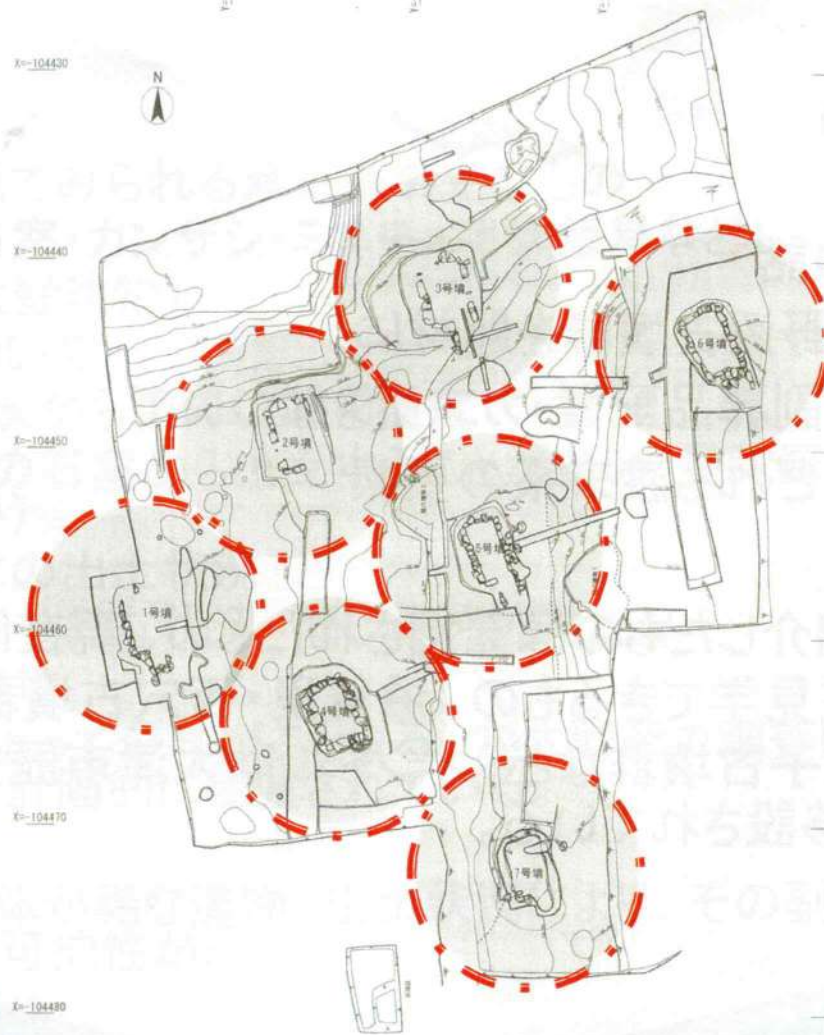


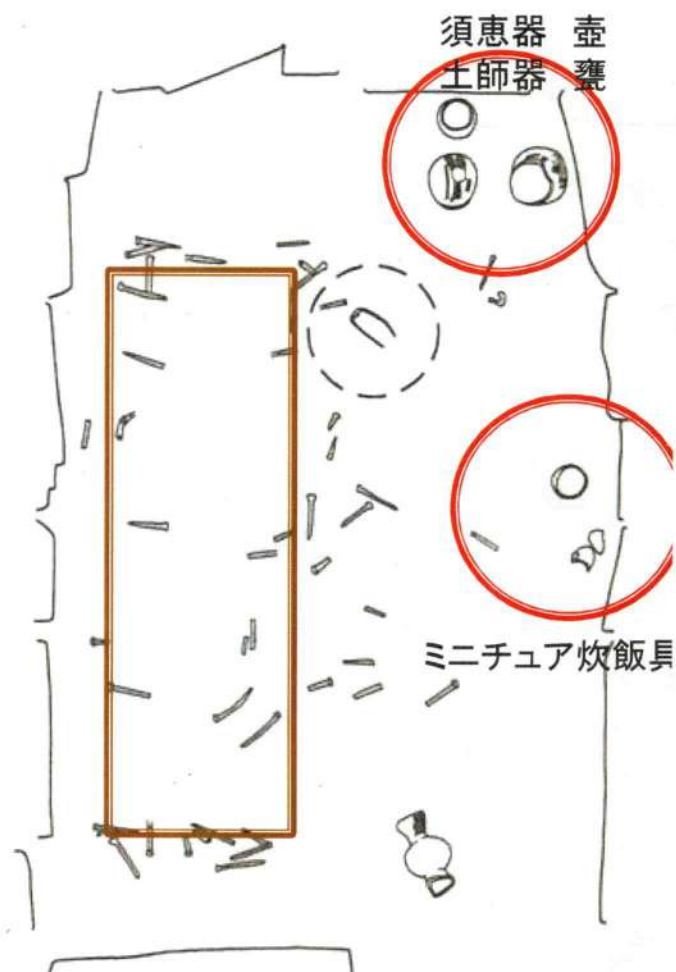
図25 穴太野添古墳群92、中山古墳群90、矢倉古墳群89分布図



33

カンザシ 出土位置

- ▶ 左奥に土器類
(杯類を含まない)を置く。
- ▶ 中央左に
ミニチュア炊飯具をおく。
- ▶ 右側に木棺をおく



6 カンザシについて

▶ 渡来系といわれる古墳で主に出土する。

いくつかの形があるが、出土事例を集めてもそれほど事例は多くない。

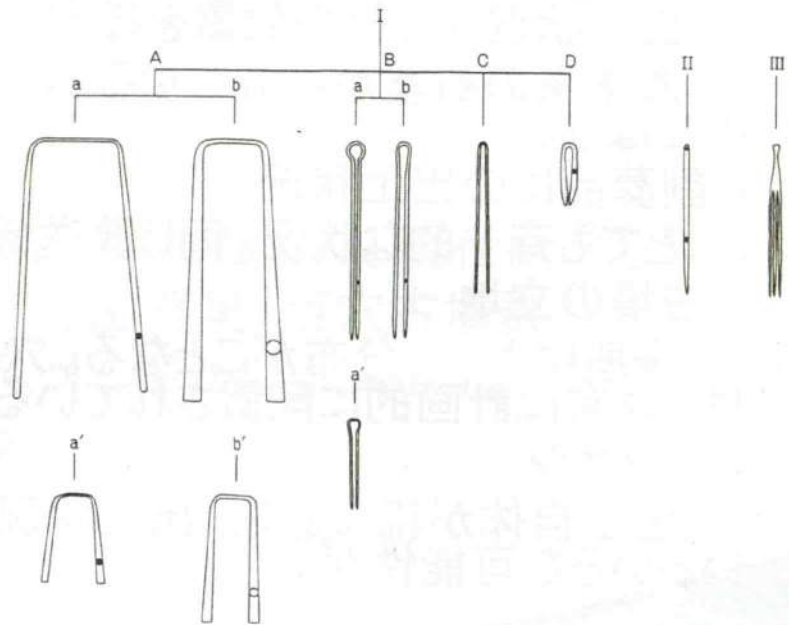


図1 カンザシ分類 (註9関川1988より転載)

34



36

まとめ

- ▶ 湖西地域でみられる渡来系の主なもの
 - 古墳(石室・カンザシ・ミニチュア炊飯具など)
 - 集落(大壁建物)
- ▶ 鉄釘について
 - 出土状況から棺の位置を推定
 - 渡来系の石室から出土することが多い(曼陀羅山・春日山ではない)
- ▶ 副葬品にの出土状況
 - とても斉一的な状況。同じ葬送儀礼か？
- ▶ 古墳の立地
 - 場所によって分布がことなる。穴太野添で調査したものは、非常に計画的に配置されている。
- ▶ カンザシ
 - 出土自体が稀な遺物。出土状況により、その副葬状況にいろいろな可能性が。

まとめ

▶ 今日の話

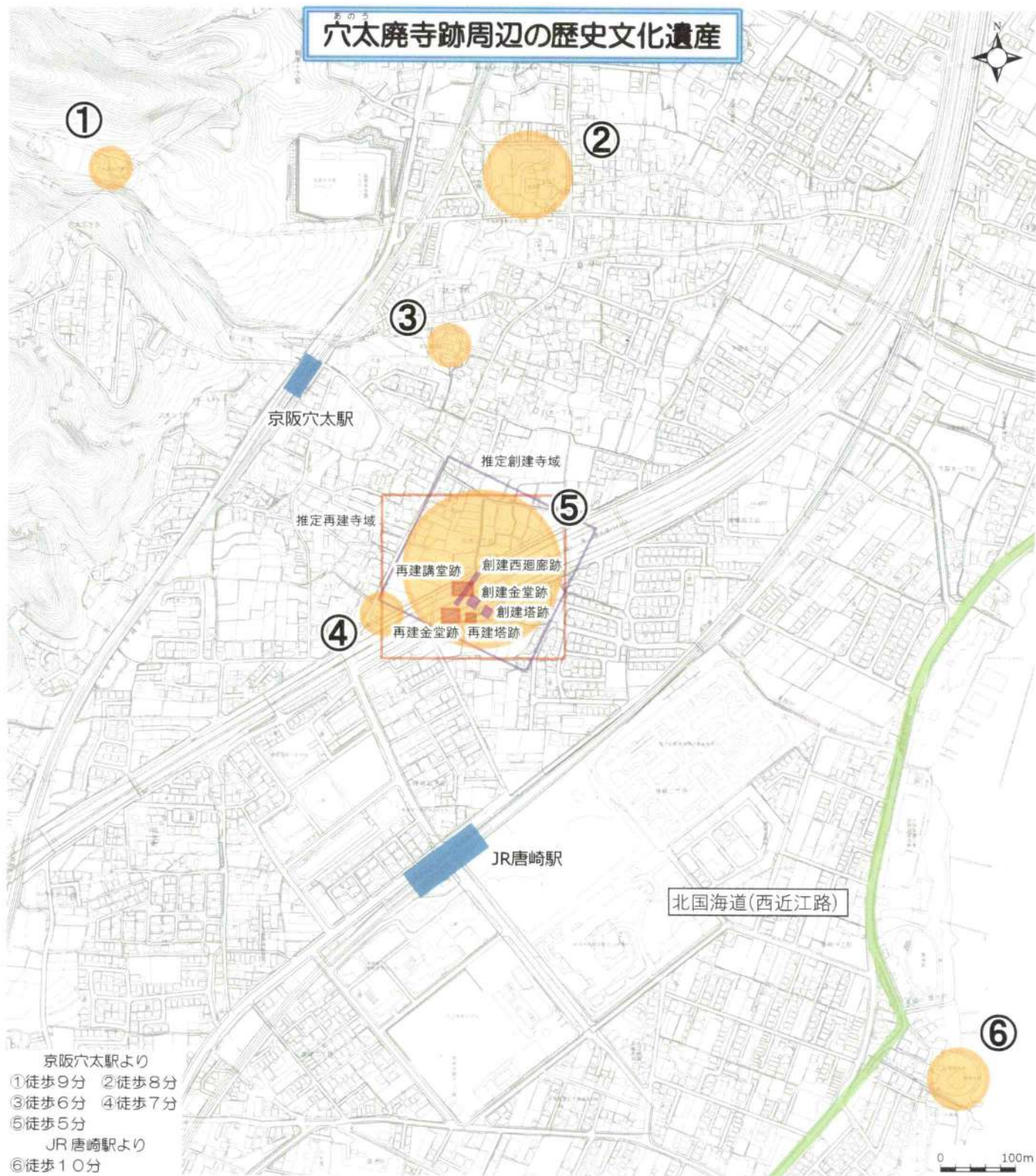
穴太野添古墳群を題材に

釘・副葬品配置・カンザシについて

⇒ どれも渡来系の要素

今日紹介したものは発掘されたもの、現在は見られない。現在見学できるもの、滋賀里・百穴古墳群や、南滋賀・福王子古墳群など。オンドルは大津市歴史博物館の前に移設されている。

穴太廃寺跡周辺の歴史文化遺産



京阪穴太駅より
 ①徒歩9分 ②徒歩8分
 ③徒歩6分 ④徒歩7分
 ⑤徒歩5分
 JR唐崎駅より
 ⑥徒歩10分

① 穴太野添古墳群

古墳時代後期の群集墳で、180基を超える古墳が確認されている。その多くがドーム状の天井をもった横穴式石室で、渡来人の墓と考えられている。

④ 穴太地藏

坂本六地藏（穴太地藏・早尾地藏・明良地藏・阿波羅屋地藏・比叡辻地藏・苗鹿地藏）のひとつ。

② 盛安寺

天台真盛宗の寺院。明智光秀の陣太鼓とされる大太鼓が伝来し、明智寺とも呼ばれた。伏見城の建材を用いたとされる客殿は重要文化財、客殿南側の庭園は県名勝に指定。

⑤ 穴太廃寺跡（国史跡）

同一地点で2度建立されており、再建寺院は7世紀後半の大津宮遷都により大津宮の建物方向にあわせた伽藍配置となっている。瓦積基壇の金堂や講堂の礎石などが出土した。

③ 高穴穂宮伝承地

『古事記』『日本書紀』に記される成務天皇または景行天皇の宮都跡と伝わる。推定地である高穴穂神社には碑が建立されているが、遺構などはまだ見つからない。

⑥ 唐崎（県名勝・市史跡）

古くから知られた名勝で、唐崎神社が鎮座する。平安時代には、水辺で厄災を祓う七瀬祓所のひとつとされ、藤原道長も禊を行なっている。近江八景「唐崎夜雨」の舞台。